

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 259 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

主な日程

- 9月19日(日) 「19の日」行動
16:30 京都市役所前
- 9月21日(火) 争議支援・労働法制宣伝
18:00 四条烏丸
- 9月22日(水) 学児問題市役所前宣伝
8:15 京都市役所前(東側)
消費税・社会保障宣伝
18:00 四条烏丸

総選挙目前

投票に行つて

政治を変えよう!!

いのち・暮らしが大切にされる政治を

9月3日、菅首相が自民党総裁選不出馬を表明し、9月末の自民党総裁の任期満了で首相を辞すると報道されました。コロナ対策の無策や多くの世論を無視した五輪強行、学術会議会員任命拒否にみられる強権政治などに対する「こんな政治はがまんならない」という世論と運動に追い詰められた「政権投げ出し」です。

「政権投げ出し」で政治的空白をつくることは許されません。いままもなく臨時国会を開いて「コロナ対策を議論すべきです。10月か11月には必ず行われる総選挙で、私たちの要求・願いを実現するため、「投票に行つて政治を変えよう」と取り組みをすすめていきましょう。



デモで市民にアピール（7月の「19の日」行動）

国会ひらき 医療崩壊を防げ

「医療・介護・保健所の削減やめて! いのちを守る緊急行動」として9月5日に「全国一斉蜂起」宣伝が提起され、京

都では20力以上で宣伝が行われました。(裏面に写真で紹介)

宣伝では、「臨時国会をたたみに開いて、コロナ感染拡大を止める手だてを」「菅首相は総裁選不出馬の理由に『新型コロナウイルスの対応に専念した

いのちを守る緊急行動 (9月5日・白梅町)



宮津では、



白梅町で市民に訴え

い」と言ったが、それならばすぐに臨時国会を開いてコロナ対策をすすめてください」と訴えました。

JR二条駅西口で6団体・12人が参加した中京区の宣伝では、「菅首相が自民党総裁選に出馬せず、退陣するならせめて直ちに臨時国会を開いて、残る一カ月で真剣にコロナ対策に取り組むことを求める」(中京社保協)、「安倍・菅政権が国民のいのちを軽く扱い、医療や介護・福祉など社会保険を切り捨ててきた結果、コロナへの対応ができていない。『菅首相への手紙』と合わせて知事あての『コロナ署名』に協力を」(新婦人中京支部)と訴えま

ミッパル前で宣伝行動を行い、「コロナの感染爆発、医療崩壊は政治の責任。直ちに国会を開き、国民のいのちと暮らしを守れ」「国が責任を持つて臨時医療施設の整備・医療従事者の確保、ワクチン接種体制の整備、感染者の早期発見・治療、すべての医療機関への支

援、補助を」と市民に訴えました。

私たちの暮らしは政治と密接にかかわっている

新型コロナウイルスの感染拡大で、まともな医療体制がひびいていのちが脅かされているのも、働いてもまともな食糧がとれない、いほど賃金が低いのも、

京都総評 第91回定期大会

大会日程が変更になりました。

とき **10月9日(土)**
13:30~16:30 (予定)

ところ **京都教育文化センターホール**

9月4日(土)に開催を予定していた第91回定期大会は、新型コロナウイルスの感染爆発・緊急事態宣言発出中という状況を踏まえ、開催を延期することにしました。

大会成功に向けて、大会議案の討議をすすめるとともに、大会を待たずに、秋季年末闘争をすすめていきましょう。また、総選挙が目前です。「投票に行つて政治を変えよう」と呼びかけ、いのち・暮らしが守られる政治への転換をめざして取り組みをすすめてい

政治の在り方に大きく左右されています。私たちのいのち・暮らし・労働・生業など政治と密接にかかわっています。

総選挙にあたっては、「組合員思想・信条の自由」「政党支持の自由」をしっかりと守ることを実現させましょう。

の要求実現に結びつけて取り組みましょう。

すべての組合員・労働者に「投票に行つて、政治を変えよう」「要求や願いを実現するために声をあげよう」と呼びかけ、実現を可能とする政治を実現させましょう。

衆議院選挙 制度解説

今度の衆議院選挙では2回投票します

衆議院選挙では、比例代表と小選挙区の2つの投票があります。

- 1 小選挙区選挙は 候補者名 で投票します。
- 2 比例代表選挙は 政党名 で投票します。

投票所では、最初に小選挙区の投票をおこない、候補者名を書きます。つぎに比例代表選挙は政党名で投票します。候補者名を書くとき無効になります。略した政党名でも投票できます。ひらがなやカタカナで書いたものも有効です。

東寺の近くに住んでいます。朝からゴロゴロとスーツケースを引きずる音で目覚め、夜は大声で宿を探している外国人に迷惑をされていました。オーバートリズムと言われ賑やかだった京都の街が静かになりました。観光バスを利用したアジア系団体から大きなスーツケースを引きずる人たちがと変化しましたが、今はいません。同時に修学旅行の学生も見かけなくなりました。迷惑感から寂しさを感じるほど変化しました。古い民家を改装して小綺麗な民泊が路地奥まで出ました。閉まっています。しかし、大きな新築ホテルは増えています。不思議な感じがします。▼

コロナウイルス感染拡大による自粛と飲食店営業規制で近所の居酒屋・飲食店も閉まっています。こっそり開けているところ(酒販売)も閉まっています。また、繁華街・お土産屋もシャッターが閉まったままの店が増えています。20時以降はコンビニが開いている程度で暗い街になっています。▼これはコロナが収束しても寂れたままです。「いけずはせんから、誰もが来てくれる京都の街を考えるとあかん」と思っています。(TH)

TUBUYAKI

医療・介護・保健所の削減やめて！

「コロナ患者を自宅放置で見殺しにする政治は許せない！」、「いのち優先 本気の医療充実を」といのちを守る緊急行動として8月22日、9月5日に全国一斉行動をこの提起をうけて、京都でも各地域で宣伝・署名行動が行われ、市民にアピールしました。各地の宣伝の様子を写真で紹介しします。



▲JR二条駅前
(9月5日)



▲近鉄新田辺駅前
(9月5日)
▲宮津ミッパル前で
(9月5日)

35人が参加した
北区の宣伝
(9月5日、白梅町で)

いのちを守る緊急行動

全国一斉行動



8月21日、京田辺市の近鉄新田辺駅そばにあるキララ館で、食材提供&生活相談会を、ボランティア団体「ぬくもりの絆」主催で開催。午前

喜 今後も継続して
綴 取り組みを

綴喜地労協 事務局長
千野根 恵吾

各地でつづく食料支援の取り組み



偶数月に開催しています

中58人の参加者があり、コロナの影響で生活に苦しむ学生や一般の方が来場。同志社大学に通う学生は、「コロナの影響でバイト先の京都市内のホテルが閉鎖になり、8月から困っていた。ポストに入っ

ていたチラシを見て来場。食料本場に助かります」とのこと。また、地元に住む子ども3人を育てる若いお母さんは、「コロナの影響で仕事が減っている。食費が捻出できなくなりつつある。政府はなにやっているのだ。くやしいう切実な声がありました。緊急事態宣言が20日から発出されたこともあり、駅前でも人は閑散。ただチラシを配りながら案内するスタッフの笑顔や、「またおいで」と声掛けする食材を配るスタッフのみなさんの元気さにとっても救われました。今後も継続していく大切さを感じました。

コロナ禍でも工夫を凝らして

伏見地区労

事務局長 香川 裕一



東北応援企画、Zoomでの講演

伏見地区労はコロナ禍で昨年の取り組みはほぼ中止に追い込まれましたが、今年は様々な工夫で取り組みを実施しています。

昨年中止になった東北応援企画「もっと広がれ支援の輪！from伏見」を、今年はZoomによる講演で、福島県をはじめ岩手、宮城県の復興の状況取材し、発信を続けている元河北新報社編集委員の寺島英弥さんから東北の今を伝えて頂き策の中で開催しました。

ました。この模様はYouTubeでも同時放映しました。Zoomは伏見地区労の会議にも使用し、昨年は2回中止した会議を今年は一度も欠けることなく開催し、コロナ禍で参加できなかった加盟団体も参加できるようになりました。今年のふれあいユニオン総会は、伏見区内の寺院の散策の中で開催しました。

7月10日の「市内網の目平和行進」は密を避ける為に例年の行進を変更し、出発地点の伏見港公園で平和行進のうちわを渡し、参加者がそれぞれ自由なコースで「核廃絶」をアピールしながらゴール地点の御香宮まで歩き核廃絶のボールペンを受け取る企画にしました。参加者から「ユニークで自分のペースで歩いて楽しかった」と好評でした。

各地から

京丹後市内のお寺で「平和の鐘」

丹後連ニュースより

被ばく76周年、核兵器禁止条約が発効して初めての夏。

京丹後市内のお寺で「平和の鐘」が突かれました。鐘を突いたのは過去最高の31カ寺、のべ258人が参加しました。朗読、平和祈念式典の視聴、バイオリン演奏、住職との懇談などの取り組みが行われた寺院もありました。

元気に

市内網の目行進

中京地区労ニュースより

7月10日、2021年国民平和行進に呼応し、中京区でも市内網の目行進を行いました。この日は市内9地区で一斉にリレー宣伝や行進が実施され、最後は京都市役所前でまとめた集会を行いました。

「なんでも相談会」開催

福知山地労協Newsより

「なんでも相談会」を7月24日に開催しました。コロナ禍で売り上げが落ちた結果、職場を自己退職せざるを得ないような雰囲気になまねれ退職したことや、労働契約書も見せられず、タイムカードを押さずに働くなど、不当な働き方がある相談があり、後日労働基準監督署と一緒に行く約束が取れました。

地区労協の活動 労働組合の姿を地域に

わたしのオスメ本 テロ

京都生協労働組合パート部会
書記長 小泉 貴子

フェルディナント・フォン・シーラッハの著作は、事実のみを淡々と述べているような短い文章なのに、読後に残る印象は強烈です。その中で、「テロ」という戯曲スタイルの小説を紹介します。テロリストによってハイジャックされた旅客機を、独断で撃墜した空



の小説には、有罪と無罪の2通りの結末が用意されています。個人的には、絶対的な正義、正しさは存在しないと考えています。「人を殺すことは絶対悪」という、一見当然のように思えることでさえ、揺らぎます。

さらには、倫理的な正義と、法律上の正しさは全くの別物。さらには、明らかに思える法律上の正しさにも、解釈の違いは表れます。未だに「有罪」とも「無罪」とも判断できない私は、裁判員にはなれそうにありません。

書名：テロ
出版社：東京創元社
著者名：フェルディナント・フォン・シーラッハ
訳者名：酒寄進一
定価：1,760円(税込)